

平成 29 年 6 月 28 日

眼科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 ステロイドテノン嚢下注射におけるステロイド緑内障併発の多施設後ろ向き観察研究

研究責任者 兵庫医科大学 眼科 五味文
(共同研究機関と施設責任者)

徳島大学	眼科	三田村佳典
福井大学	眼科	高村佳弘
市立札幌病院	眼科	今泉寛子

研究の目的

ステロイドテノン嚢下注射は、網膜静脈閉塞症や糖尿病網膜症に伴う黄斑浮腫や、ぶどう膜炎・強膜炎などの眼炎症性疾患に対して、眼球の後ろ側にトリアムシノロン（ステロイド懸濁液）を投与する治療法です。副作用としては眼圧上昇や感染などが挙げられますが、本検討では実際にどのぐらいの割合で眼圧上昇（ステロイド緑内障）が発現するのかを検討することが目的となります。多施設でのステロイドテノン嚢下注射後のステロイド緑内障併発の割合を検討することで、より安全で根拠に基づいた治療が可能になると考えます。

研究の方法

1 対象となる患者さん

平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 8 月 31 日までに当科を初診され、ステロイドテノン嚢下注射を受けて 6 カ月以上通院を継続された方。

2 利用するカルテ情報

年齢、性別、ステロイドテノン嚢下注射を行った原疾患、注射前後の眼圧、眼圧上昇までの期間、眼圧上昇に対する治療などを調査します。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院眼科